

卒業生が語る中高一貫教育 第3回

私が過ごしたミッションでの6年間

今を遡ること6年前の2003年、高校受験によって寸断されることのない、生徒一人ひとりに合わせた学習プログラムの実現を目指し、「中高一貫教育」を導入した北陸学院。このインタビューシリーズでは、夢への確かな一歩を踏み出した第一期目の卒業生たちに、「勉強プラスもうひとつ」を教育方針とする北陸学院で過ごした6年間を振り返ってもらいます。



「ミッションには  
自分を変えるチャンスが  
たくさんありました」

よしかわ れいな  
吉川怜那さん  
日本女子大学  
理学部数物科学科

月刊北國アクタス2009年11月号掲載記事

北陸学院中学校・高等学校礼拝堂(栄光館)にて

体験入学で先輩の  
やさしさに感激

ミッションを受験した理由は？

入学のきっかけは小学校6年生のときに参加した体験入学でした。ドキドキしながら受付を済ませると、「こんにちは」と案内役の先輩がやさしく声をかけてくれ、緊張が一気にほぐれました。

実は体験内容はよく覚えていないのですが(笑)、とにかく先輩たちが親切かつ丁寧で、ずっと笑顔で接してくれたことに感激し、「またここに来たい」と思ったことだけははっきりと覚えています。両親も「将来を考えると、受験を決意しました。」

委員会活動で  
ボランティアを体験

あなたにとつての  
「勉強プラスもうひとつ」は？

ミッションには、礼拝の進行やボランティア活動を行

う宗教委員会があります。小学生の頃から、街頭募金を呼びかけるお姉さんやお兄さんたちの姿に言い知れぬ共感を覚えていたこともあって、1年生で迷わず委員会に入りました。

初めての活動は、全校生徒から集めた花を持ってお年寄りを訪問する行事でした。どう接すればいいのか分からず戸惑ってばかりでしたが、笑顔で何度も「ありがとう」と言ってくれるお年寄りに、「私たちの訪問をこんなに喜んで迎えてくれるなんて。こちらこそありがとう」という気持ち湧き上がってきたことを覚えています。



中学・高校と続けた委員会活動を通じて、相手の気持ちを大切にすることの難

しさとすばらしさを同時に教わったような気がします。

「こんなに手をかけてもらっている」と思った(笑)  
進路の決定については？

ミッションでは、進路指導の先生と担任が話し合いながら、生徒一人ひとりの受験プランを考えてくれます。生徒自身の気持ちを第一に考えて資料を揃え、とことん相談にのってくれた学校のサポート体制には、いつも「こんなに手をかけてもらっている」と思っていました(笑)。

中学・高校の授業で数学のおもしろさに目覚め、もっと深く勉強したいと思うようになった私に、先生は理系の教育体制が充実している大学をいくつか紹介してください、その中から日本女子大学を選びました。伝統があり、幼稚園から大学までの一貫教育の実践や少人数制の導入など、ミッションとの共通点がたくさんあって、安心して通えそう

だと思った部分も大きかったですね。

夢は「世界を舞台に活躍するサイエンティスト」  
将来の夢は？

今は、高校時代から憧れを抱いていた大学院への進学を目指しています。教授に相談したところ、「日本だけでなく、世界を視野に入れてみたら」という助言をいただき、思い切つて理系では世界最高峰のレベルを誇るアメリカのマサチューセッツ工科大学院への進学を目標にしました。そのためにも、TOEIC(トイック)※とTOEFL(トイフル)※に今年からチャレンジし、毎年スコアを伸ばしていけるよう、一歩ずつがんばってみます。将来は、数学と情報の知識を活かし、世界で活躍できる人間になりたいと思っています。

※TOEIC...英語を使って会話する能力を判断するための世界共通の試験。  
※TOEFL...英語が母国語でない国の人たちの英語能力を判断するための世界規模の試験。

困難も共有したからこそ「生の友達」  
ミッションで過ごして一番よかったことは？

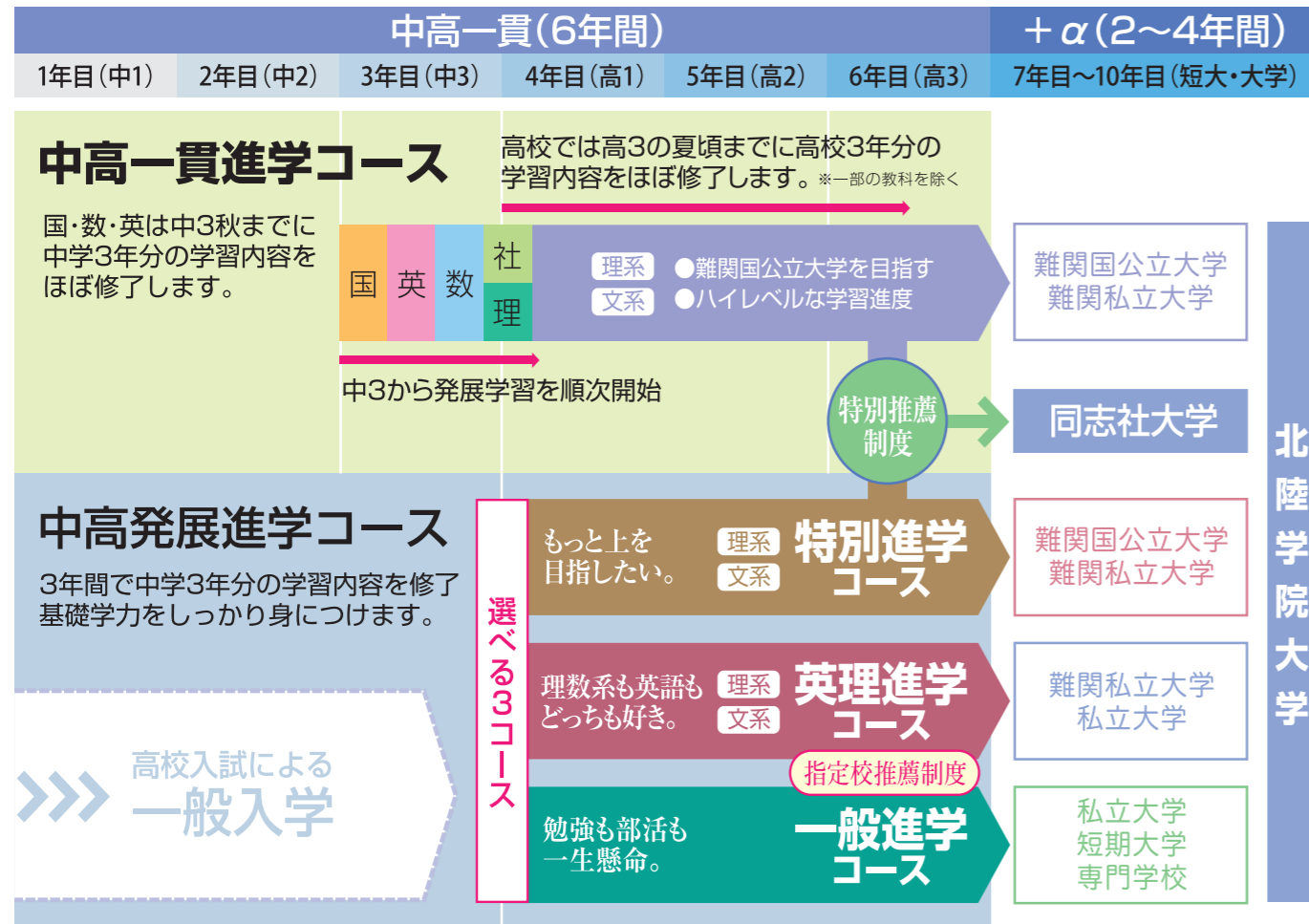
一生の友達ができたことです。文化祭や演劇コンクールなど、ぶつかり合いながらも全員でがんばった数々の行事の経験が、本当の友情を育んでくれたと思います。行事を通じて自分以外の誰かと同じ目標に向かって努力することの難しさ、そして何よりもその楽しさを知ることができました。

大学入学後は、早稲田大学とのインターカレッジサークルに入るなど、学内だけにとどまらず、いろいろな活動に参加しています。内気だった私がこんな積極性を身に付けることができたのも、個々人の「やってみよう」という気持ちを常に尊重し合うミッションの校風が育んでくれたものだと思います。

# —ミッションの10年Story—

個性に合わせて広がる未来

大学を含めた10年間をひとつの教育期間と考え、広い視野をもった人間味あふれる社会人を世に輩出しています。



北陸学院の「中高一貫教育」

# 「ミッションの中高一貫教育」という選択

無限の可能性を秘めたお子さんの未来のために…

今春、北陸学院初の「中高一貫カリキュラム修了生」たちが、大学受験においても立派な成績を収めました。

## なぜ今「中高一貫校」なのか

子どもが小学校高学年になると、保護者の間で「中高一貫」「受験」という言葉が聞かれるようになり、中高一貫教育の最大のメリットは、基礎学力の低下という「ゆとり教育の課題」を解消し、6年間で効率的に学習を進められることにあり、「子どもにやさしい教育」として中高一貫校を選ぶ親が全国的に増加しています。

## 北陸学院中学校・高等学校の特色ある「2つのコース」

北陸学院は、2003年度より県内初の「中高一貫教育」を実践してきました。北陸学院中学には、6年間のカリキュラムで全国の難関国公立大学を目指す「中高一貫進学コース」と中学で基礎学力を身につけ、高校入学時に自分に合ったコースを選択できる「中高発展進学コース」があり、どちらのコースも、早い時期に基礎的な学習能力の土台を固めます。そのため、子どもたちは、部活に、学校行事に、また好きな習



少人数制による丁寧な指導で生徒の能力を引き出す



人格形成に大きな役割を果たす毎朝の礼拝

い事に取り組み、彼らの人生にとって大きな財産となる友人との時間を楽しみながら、無理なく大学入試への準備を整えることができます。また、北陸学院では、キリスト教教育を軸とした心の教育をすべての土台としており、思春期を迎えた多感な子どもたちの、人間的な成長をしっかりとサポートします。

## 推薦と一般、どちらの入試制度にも強くなる

大学入試において、推薦に強いことも北陸学院の大きな特徴です。同志社大学とは、教育連携協定を結び、2011年度より15名程度の特別推薦枠が設けられる予定です。また、キリスト教学校教育同盟校として、関西学院大学や青山学院大学にも多くの指定校推薦枠を有しています。これらの大学をはじめ、全国95校<sup>※1</sup>への指定校推薦、公募制推薦、AO入試<sup>※2</sup>などの制度を利用し、夢を叶えた先輩たちが充実したキャンパスライフを謳歌しています。

さらに、中高一貫カリキュラムの成果が初めて試されることとなった今春の入試においては、合格実績の約40%を一般入試が占める結果となりました。(実績の詳細については左ページをご覧ください)

※1 2009年4月現在  
※2 アドミッション・オフィス入試。出願者の人物像を学校側の求める学生像と照らし合わせて合格を決める入試方法。

## 中高一貫「第1期卒業生31名」の合格実績 (2008年度:すべて現役合格)

- 中高一貫・特別進学コース
    - [国公立大学] 金沢大(人間社会、理工) 2名 富山大(工、経済) 3名 はこだて未来大(システム情報科学)
    - [私立大学] 青山学院大(文) 関西外国語大(外国語) 関西学院大(法) 京都産業大(経営、経済) 6名 京都女子大(現代社会、文) 3名 京都精華大(マンガ、芸術) 3名 近畿大(経営、経済) 2名 芝浦工業大(工) 2名 中京大(現代社会、総合政策) 2名 東京薬科大(生命科学) 日本女子大(理) 法政大(国際文化、文、理工) 5名 武庫川女子大(文) 3名 明治学院大(国際、文) 2名 桃山学院大(経営、社会) 2名 立命館大(映像、経済) 2名
  - 英語コース (2007年度より英理進学コース)
    - [私立大学] 学習院大(法) 国際基督教大(教養) 上智大(法) 北陸学院大(人間総合)
  - 一般進学コース
    - [私立大学] 青山学院大(経営) 京都精華大(芸術、人文) 3名 京都ノートルダム女子大(人間文化) 女子美術大(芸術) 玉川大(リベラルアーツ) 同志社女子大(学芸)
- ※「のべ人数」による実績。高校からの入学者の実績は含んでいません。

## 2010年度 学校・入試説明会のお知らせ

- 北陸学院中学校**  
10月24日(土) 学校・入試説明会  
11月14日(土) 入試問題解説会
- 北陸学院高等学校**  
11月21日(土) 学校・入試説明会①  
11月28日(土) 学校・入試説明会②  
12月 5日(土) 学校・入試説明会③
- ◎詳しくはホームページをご覧ください。